

機関番号

24403

平成26年度「大学教育再生加速プログラム」申請書

1. 設置形態	2	公立	2. 学校種別	1	大学	
3. 大学名	大阪府立大学					
4. 所在地	〒	599-8531	住所	大阪府堺市中央区学園町1番1号		
5. テーマ	テーマ I・II 複合型					
6. 申請者 (学長等)	(ふりがな) 氏名	おくの 奥野	たけし 武俊	職名	学長	
7. 事業者 (大学等の設置者)	(ふりがな) 氏名	おくの 奥野	たけし 武俊	職名	理事長	
8. 事業担当者	(ふりがな) 氏名	まえかわ 前川	ひろかず 寛和	職名	副学長	
9. 共同申請校	該当なし					
10. 学部等名 (学生が所属する全ての 部局名を記入)	学域：現代システム科学域、工学域、生命環境科学域、地域保健学域					
	総入学定員			1,310		

11. 学校教育法施行規則第172条の2第3項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況についての情報のHP等における公表の有無	有
---	---

12. 事業期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
----------	--------------------

13. 申請経費						
年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
申請額 (単位千円)	25,115	27,920	27,220	17,860	8,880	106,995

14. 事業の概要(※400字以内)

本学は学士課程において学修成果目標を定め、目標達成のためのカリキュラム改革として初年次に能動的な学びへの転換を目標としたアクティブ・ラーニング科目「初年次ゼミナール」を必修科目として設置し、学修成果把握のため、学修行動調査を継続的に実施してきた。しかし、授業外学修時間は微増に留まり、GPAが知識習得以外の学修成果との相関が小さいこと等の課題が顕在化している。

本プログラムは課題解決のため、アクティブ・ラーニング科目を専門教育においても体系的に位置づけ、反転授業を特定学域で先行導入し全学に拡大する。また、成績評価にルーブリック評価を採用し、知識修得以外の能力がGPAに反映できる成績評価方法を開発する。さらに、ラーニングコモンズでの学修支援充実により授業外学修時間を増加させ、学修行動調査と学生ポートフォリオから学修成果目標の達成度を測定しGPAが学修成果と連動する学士課程教育の実現を目指す。

397文字